



学校だより

いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標 「いっしょに
一生けんめい」

小山町立須走小学校

令和3年3月号

未来を担う子どもたちへ

夢と希望をいつまでも

校長 青木元広

気が付けば、もう、あの第一回目の緊急事態宣言から一年がたちました。今は全国一律休校を命ぜられるようなことはありませんが、隣の神奈川県を含む首都一都三県は、未だに二回目の緊急事態宣言が解除されていません。何ともむなしく、やるせない思いばかりが続いた令和二年度が、間もなく終了となります。

見えない敵に脅えながらも、学校でできることは何か、どうすれば安全に学校教育が成り立つのかばかりを考えて歩んできました。

まずは、密になることを回避し、大勢の人が集結することを極力避けてきました。運動会をブロック学年ごとに区切つて行ったり、参観日も同一の階に集中しないように分けて行ったりしました。恒例行事である富士登山は中止とし、宿泊を伴う自然教室や修学旅行は、日帰りの実施になりました。集会的なこ

とも、ことごとく規模を縮小したり修正したりしながら進めてきました。とにもかくにも、何とかここまで無事に過ごして来れましたのは、学校の方針に御理解と御協力をいただいた、御家庭や地域の皆様方のお陰であると、心より感謝申し上げます。

このような辛い日々ではありましたが、一たび子どもたちの笑顔を見、歓声を聞けば、その辛さを忘れることができました。子どもには人を元気にするパワーが大人の何倍もあるのですね。何度子どもたちの笑顔や声に救われたことでしょうか。改めて、子どもは社会の宝であることを痛感した一年になりました。

これから、須走小学校はこんなに素晴らしい子どもたちを中心に据え、皆様と手を携えながら、健全な育成に努力していきます。一年間御協力いただき、誠にありがとうございました。

子どもたちに少しでも顔を上げて、

明るい未来への希望を持ってもらいたい。今年度の良い思い出を残してもらいたいという願いから、切り絵作家の水口千令(ちはる)先生をお招きし、切り絵教室を全学級で実施しました。

水口先生の、巧みなはさみ裁きから繰り出される、数々の作品に歓声を挙げ、自分たちもやればできることを教わりながら、各自の作品を作り上げました。ランチルームへの渡り廊下には五・六年生の作品が窓を飾り、昇降口には水口先生の夢のある作品が貼られました。

子どもたちはこの活動を大変喜んでくれ、思い出のページとなりました。



写真で見る2月

★2月17日 「金管引継ぎ式」



★2月26日 「卒業を祝う会」

